

令和元年度実績

令和元年度認定者数	31名（上級1名・中級24名・初級6名）
対象別認定者数（※）	学生0名、教育施設4名、公務員1名、一般26名
令和元年度受験者数	37名

令和元年度活動年表	
実施日	実施内容
令和元年 2月下旬	前年度のふりかえりと、本年度の開催内容についての検討
3月上旬	前年度の結果についての報告と公表
3月中旬	本年度の開催概要についての公表と広報の開始
6月下旬	講習内容の詳細についての公表と受講申込の受付開始 受講要項の公表
7月上旬	受講資格審査の開始
12月1日	受講申込の締め切り
12月下旬	協会より「当日のご案内」の配布
令和2年 1月11日～12日	講習と試験の実施
1月31日	レポート試験の締め切り
2月上～中旬	「合否審査会」にて合否の審査と決定
2月下旬	協会より個別に「合否結果」の連絡 「認定書」の発行と発送
3月下旬	「環境再生医データベース」への登録 協会会員への入会手続（希望者のみ）
4月上旬	「環境再生医リスト」への掲載と公表（希望者のみ）

令和2年度活動計画

	審査方法	審査基準
審査について	<p><b>【書類審査】</b></p> <p>●初級・中級 「実務経歴書」にて、受講資格審査会により基準に達しているかを審査します。</p> <p>●上級 「実務経歴書」「論文・報告書・活動掲載記事」にて、受講資格審査会により基準に達しているかを審査します。</p>	<p>●初級 自然環境の保全・再生に関わる実務を合算して2年以上有することを要します。</p> <p>●中級 自然環境の保全・再生に関わる実務を合算して5年以上有することを要します。</p> <p>●上級 自然環境の保全・再生に関わる実務を合算して10年以上（うち2年以上の指導経験）を有し、および中級を取得していることを要します。</p>
	<p><b>【公式テキスト試験】</b></p> <p>「公式テキスト」に基づき、自然環境の保全・再生に関わる基本知識について試験を行います。</p> <p>●初級…50問・多岐選択式 ●中級…27問・多岐選択式&amp;記述式 ●上級…除外となります。</p>	<p>正解率：6割以上</p>
	<p><b>【講習試験】</b></p> <p>「講習内容」に基づき、これからの自然環境の保全・再生活動に必要な事項について試験を行います。</p> <p>●初級…「基礎講習」に基づいたレポート提出となります。 ●中級…「基礎講習」に基づいたレポート提出と、「実践講習」に基づいた記述式試験を行います。 ●上級…「基礎講習」「実践講習」に基づいた記述式試験を行います。</p>	<p>正解率：6割以上</p>
	<p><b>【プレゼンテーション試験】</b></p> <p>リーダーに求められる協働や共感獲得のためのプレゼン力について評価します。</p>	<p>評価点：6割以上</p>

<p>●初級・中級…除外となります。</p> <p>●上級 ご自身の活動に関する発表について、以下項目にて採点します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝達力（話し方、聞き方/質疑応答力など）</li> <li>・構成力（起承転結、分かりやすさ、興味喚起など）</li> <li>・資料の使い方</li> <li>・テーマ連動性</li> </ul>	
<p>【レポート試験】 講習全体を反映したレポート提出していただき、内容について評価します。</p> <p>●初級：400字以上 ●中級：800字以上 ●上級：1200字以上</p>	<p>「合否審査会」にて、以下を鑑み各級に応じて総合的に判定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題テーマとの連動性</li> <li>・対象級に応じた文章力</li> <li>・講習内容の反映度</li> </ul>
<p>省令第4条第2項第二号ハ関係</p>	
<p>環境の保全に関する指導又は協働取組の促進に必要な知識又は技能の水準に関する基準</p>	<p>●環境の保全に関する基準 以下項目に関する筆記試験ならびに講習を行い、「正解率6割以上」を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境に関わる思想の変遷</li> <li>・地球環境問題との関わり</li> <li>・自然環境に関する国際的枠組み</li> <li>・環境再生医としての活動に関連する国内の法的枠組み</li> <li>・自然環境とその再生に関わる基礎的知識</li> <li>・農山村における自然環境再生</li> <li>・陸水域・海域沿岸における自然環境再生</li> <li>・都市における自然環境再生</li> </ul> <p>●協働取組に関する基準 以下項目に関する筆記試験ならびに講習を行い、「正解率6割以上」を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティの醸成方法</li> <li>・自然環境に関わる環境学習のあり方</li> <li>・活動主体とそのリーダーのあり方</li> <li>・地域的取組み活動の実際</li> </ul>
<p>環境の保全に関する指導の安全な実施に必要な知識又は技能の水準に関する基準</p>	<p>●安全な実施に関する基準 ○以下項目にて理解を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境に関わる環境学習のあり方：安全な実施の背景にある環境教育、環境学習、ESDなどへの理解を進める。</li> <li>・活動主体とそのリーダーのあり方：運営手法に欠かせ</li> </ul>

		<p>ないものとして「事故予防策」の必要性について理解を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域的取組み活動の実際：活動の種類や場に応じた「事故予防策」「事後発生時対処法」について理解を進める。</li> </ul> <p>○ 講習にて、安全な活動実施に必要な事項「事故予防策（ヒヤリハットなど）」「事後発生時対処法（ファーストエイドなど）」の必要性について理解を進めます。</p>
省令第4条第2項第2号ニについて	審査を受けようとする者の安全の確保を図るための措置	<p>● 避難対応 災害時の避難経路や避難方法について、事前に会場との打ち合わせと下見を行い、運営スタッフや講師陣に指導を行います。また講習当日には、受講者に向けてガイダンスを行います。</p> <p>● 救急対応 救急トレーニングを受けたスタッフを配置します。</p> <p>● 安全確保 ・ 会場ならびに周辺の情報を収集し、セキュリティ面も含めた安全な運営管理を行います。 ・ リスク管理講習を受けたスタッフを配置します。</p>

令和2年度活動予定表	
実施日	実施内容
令和2年 4月上旬	前年度のふりかえりと、本年度の開催内容についての検討
4月下旬	前年度の結果についての報告と公表
7月中旬	本年度の開催概要についての公表と広報の開始
9月下旬	講習内容の詳細についての公表と受講申込の受付開始 受講要項の公表
10月上旬	受講資格審査の開始
令和3年 1月9日	受講申込の締め切り
1月下旬	協会より「当日のご案内」の配布
2月6日～28日	講習と試験の実施
3月上～中旬	「合否審査会」にて合否の審査と決定
3月下旬	協会より個別に「合否結果」の連絡 「認定書」の発行と発送
4月中旬	認定者交流会の実施
4月下旬	「環境再生医データベース」への登録 協会会員への入会手続（希望者のみ）
5月上旬	「環境再生医リスト」への掲載と公表（希望者のみ）